

付表I-27 No.14の施設における火葬状況（1回目）

1号炉	時間	10時14分～11時07分
	御遺体	女 88歳
	状況	再燃焼炉着火後20～30秒で主燃焼炉に着火。 主燃焼炉着火直後は、炉内にガスが充満しており、バーナ回りの隙間からガスの吹出しが見られた。 ロストル式の火葬炉であるため、火葬中盤～後盤にかけては、焼骨は骨受皿上に落下した状態となっており、火葬最終段階では、骨受皿上の難焼部にバーナ火炎を照射していた。
	副葬品	花(多い)、その他不明
	特記事項	主燃焼炉着火してまもなく、柩の側板(バーナに面する板)をデレッキ棒で破り、中の副葬品を確認する作業を行っていた。 (通常の作業として)主燃焼バーナの燃焼量制御は手動(レバー操作)であったが、火葬中は中燃焼～高燃焼～中OR低燃焼(火葬終了確認のため)程度 デレッキ操作 10時15分 10時35分 覗き窓約60秒間開放 10時48分 下部点検口開放(約15秒間) 10時57分 覗き窓左右開放(約30秒間) 下部点検口開放(約15秒間) バーナ傾動 10時35分 下 10時41分 下 10時43分 下 10時48分 下 10時57分 下 10時58分 下

付表I-28 No.14 の施設における火葬状況(2回目)

1号炉	時間	14時13分～15時12分
	御遺体	男 71歳
	状況	1回目と同じ
	副葬品	花、その他不明
	特記事項	デレッキ操作 ()内はその他の操作 14時14分 側板を破る 14時19分 視窓約90秒間開放 14時25分 (主燃バーナ出力最大へ) 14時39分 視窓約60秒開放 14時59分 下部点検口開放(約20秒) 15時06分 視窓約20秒開放 バーナ傾動 14時33分 下 14時39分 下 14時46分 下
2号炉	時間	15時07分～16時07分
	御遺体	女 55歳
	状況	
	副葬品	不明
	特記事項	1号炉と同一排気系列 1号炉2回目の火葬と約5分間ラップ 着火から20分間温度、炉圧、デレッキ操作等未確認 デレッキ操作(バーナ傾動) 15時42分 15時43分(バーナー傾動) 16時03分 右視窓約2分間開放 16時05分 左視窓約70秒間開放 16時06分 下部点検口開放(約60秒間)

付表I-29 No.15の施設における火葬状況（1回目）

1号炉	時間	14時07分 ~ 15時34分
	御遺体	男 66歳
	状況	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料の調節、バーナの傾斜角度の調節等を全て火葬従事者の経験と感に頼っている。 ・通常は再燃炉着火後10分程度で主燃炉に着火している。
	副葬品	生花、傘、10円玉6枚（業者調）
	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・デレッキ作業は行わない。 ・再燃炉運転時間 14:07~14:51（44分間） ・熱電対の位置の影響により、主燃炉、再燃炉の温度、排気、湿度とも実際値とかけ離れた表示をしていると思われる。

付表I-30 No.15の施設の火葬状況（2回目）

1号炉	時間	14時32分 ~ 15時38分
	御遺体	女 88歳
	状況	1回目と同様
	副葬品	不明
	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・再燃炉運転時間 14:32~15:22（50分間） ・温度表示については、一体目と同様

付表I-31 No.16の施設における火葬状況（1回目）

1号炉	時間	11時35分～12時47分
	御遺体	女 85歳
	状況	火葬初期は炉圧不足で臭気リーク。 火葬中盤で発煙有り。
	副葬品	花、本、メガネ、メロン、リンゴ、ペースメーカー
	特記事項	バーナ傾動操作が多い。 副葬品が多く、火葬初期は発生ガス量が多いことの起因し、炉圧不足が生じていたようであり、炉内は白く霞んでいた。 主燃バーナ操作 11時43分(開→切) 11時44分(自動→開→自動)) バーナ傾動 11時46分 下 12時31分 下 11時47分 上 12時39分 下 11時53分 上 12時46分 下 11時55分 上 12時07分 下 12時16分 上 台車寸動 12時07分 バーナ側 12時21分 バーナ側 12時28分 バーナ側 デレッキ操作 12時06分 12時37分(10秒) 12時44分

付表I-32 No.16の施設における火葬状況(2回目)

1号炉	時間	14時23分 ~ 15時40分
	御遺体	女 80歳
	状況	火葬初期は炉圧不足で臭気リーク。
	副葬品	花、本、毛布
	特記事項	<p>バーナ傾動操作が多い。 デレッキ操作で難燃部を中央又は手前に寄せている。 発煙しないよう、運転には気をつけている。 主燃バーナ操作 14時37分(閉→切) 14時45分(自動→切) 14時38分(閉→切) 14時53分(自動→切) バーナ傾動 14時30分 下 14時58分 上 14時34分 下 15時18分 下 14時35分 下 15時36分 下 14時38分 上 15時38分 下 14時46分 上 15時40分 下 14時54分 上 台車寸動 15時14分 バーナ側 15時27分 バーナ側 デレッキ操作 14時57分(30秒) 15時26分(30秒) 15時30分(20秒) 15時36分(20秒)</p>

付表I-33 No.17の施設における火葬の状況（1回目）

1号炉	時間	10時27分～11時44分
	御遺体	男 72歳
	状況	推定70kgの御遺体
	副葬品	やや多い
	特記事項	消費燃料50.3L 8分後に再燃バーナ消火 60分後に状況確認 68分後にバーナ位置調整 70分後に再度状況確認 76分後に終了 デレッキ使用一切なし。 全自動運転

付表I-34 No.17の施設における火葬の状況（2回目）

1号炉	時間	13時43分～14時44分
	御遺体	男 92歳
	状況	推定60kgの御遺体
	副葬品	少ない
	特記事項	消費燃料37.4L 5分後に再燃バーナ消火 53分後にバーナ位置調整 60分後に状況確認、終了 デレッキ使用一切なし。 全自動運転

謝辞

本報告書は、厚生科学研究費補助金（生活安全総合研究事業）により行った「火葬場からのダイオキシン類排出抑制対策の検討」の研究成果をまとめたものです。

本研究の趣旨をご理解していただき、ダイオキシン類の実態調査にご協力いただきました火葬場および自治体の方々に深く感謝いたします。また、現場のダイオキシン類採取および分析につきましては、（株）島津テクノリサーチの方々にお世話になりました。また、現場の下見、立会、データの解析等にご協力いただきました京都大学大学院工学研究科環境工学専攻助教授藤原健史博士ならびに京都大学大学院工学研究科環境工学専攻助手高岡昌輝先生、（有）日本斎苑企画代表取締役竹山久之氏、太陽築炉工業（株）代表取締役江口正司氏に厚く御礼申し上げます。